

知的障害者の地域生活の実態に関する調査研究

水内 豊和¹⁾・武藏 博文²⁾

Key words ; 知的障害者、地域生活、就労、QOL

I. 問題と目的

大局的な視点からすれば、近年の障害者への対応は、「脱施設化」、すなわち施設入所から地域において生活支援を行っていく方向へと大きく転換する流れの中にある。そして昨今の障害者福祉をめぐる施策は「措置制度」から「支援費制度」、そして「障害者自立支援法」に基づく支援サービス体系へとめまぐるしく転換している。また障害のある子どもの教育も、特殊教育から特別支援教育へと大きく変わってきている。こうした変革に一貫しているのは、障害者が地域で生活することを主眼とした取り組みということであろう。

こうした状況下において、知的障害者の地域生活の実態とは、はたしてどのようなものであろうか。1979年の養護学校義務制以降、障害児が学校教育を受けることがようやく当然の権利として保障されてからは、障害を理由に就学免除・就学猶予となることはまずなくなり、その後ほとんどの子どもが高等部へ進学するようになった。障害のある子どもの境遇の変化があると同時に、当然それを取り巻く社会的な状況も変化してきている。

1990年代半ばに武藏らは、富山県において養護学校高等部を卒業した知的障害者を対象としたアンケート調査を行い、その当時の知的障害者の生活実態を明らかにしている。そこでは、企業就労者が48.8%と当時の全国平均(38.9%)よりも高率であること、しかし、地域生活という面では家庭の支援に大変依存した構造にあり、外出や余暇などの日常生活の質的な側面については十分とはいえないことなどが明らかになった。

それから、10年以上が経過し、富山県においても、知的障害養護学校は増え、高等部を卒業した知的障

害者は確実に増えてきている。先述したような障害者福祉の構造改革が、彼らの生活、とりわけ地域生活にどのように影響しているのか、今一度明らかにする必要があるだろう。そこで、本研究では、知的障害者に対しアンケート調査を実施し、地域生活の実態を明らかにすることを目的とする。そして障害のある子どもの教育や福祉を再考する上での基礎資料としたい。

II. 方法

1. 調査の内容

本研究は、1994年に武藏らが富山県においておこなった一連の研究(武藏・高畑・平野・安達, 1996; 武藏・高畑・平野・安達, 1997a; 武藏・高畑・平野・安達, 1997b; 高畑・武藏, 1997)において用いられた「生活実態アンケート調査」(武藏ら, 1996)をベースとしつつ、その内容については時代的変容を考慮し、筆者らにおいて再検討したものを用いた。用いた調査用紙については、末尾に資料として附す。

本調査は「生活実態アンケート調査」とし、武藏ら(1996)の調査(以下「前回調査」と記す)と基本的に同様の枠組みからなる。それに加えて前回調査には無かったもので今回の調査から「パソコンや携帯電話の利用について」という大項目を新設した。これは、養護学校での学習内容に情報が取り入れられ、パソコンリテラシーの指導が行われていることや携帯電話の普及に伴い保護者が子どもに緊急連絡用などの理由で携帯電話を持たせているケースが増えてきている状況を受けたものである。したがってパソコンや携帯電話の利用実態ならびに利用上の諸問題について明らかにすることを目的としている。本調査内容についての概要をTable 1に示す。

1) 富山大学人間発達科学部

2) 香川大学教育学部

Table 1 生活実態アンケート調査の内容項目

I. 本人について	性別、年齢、生活の場、仕事、お金の管理や用途、など
II. 健康やからだの様子について	身長・体重、食事・間食、体型についての自己イメージ、起床時間、健康面で気にしていること、など
III. ふだんの家での生活について	家族と一緒に過ごす時間の様子、一人で過ごす時間のようす、家庭での役割、学校で学んだことで家庭生活で役立っていること、など
IV. 休日などの屋外での生活について	休日の屋外での過ごし方、誰と出かけるか、親の会活動やサークル活動への参加について、友人とのつきあいについて、など
V. 地域活動・スポーツについて	習い事について、地域行事について、運動・スポーツについて、など
VI. パソコン・携帯電話の利用について	パソコンの利用について、携帯電話の利用について、など
VII. 本人の考えについて	将来についての希望、職場・作業所で困ったり悩んだりしていること、男女交際に関して、など
VIII. 今後の生活について	10～15年後の生活の希望について、行政や社会に対する要望、保護者が相談する相手、など
その他	本調査に関する意見

2. 調査の対象

富山県下の高等部を設置している知的障害養護学校（現在は特別支援学校であるが、調査時の呼称を以下用いる）である、県立しらとり養護学校、県立

高岡養護学校、県立にいかわ養護学校、県立となみ養護学校、富山大学人間発達科学部附属養護学校の計5校で、これまでに高等部を卒業した者を対象とした。各学校ごとの対象者数は、Table 2に示す。

Table 2 調査の対象

配布先	配布数	回収数
A. 富山大学人間発達科学部附属特別支援学校	185	76
B. 富山県立高岡養護学校	488	131
C. 富山県立にいかわ養護学校	97	29
D. 富山県立しらとり養護学校	289	93
E. 富山県立となみ養護学校	116	38
計	1175	367

3. 調査の手続き

各学校の校長に調査の趣旨を説明し実施について許可を得た。また調査用紙の配布は、卒業生向けのたよりを学校から出すときに同封してもらったり、同窓会を通じて同窓会報と同封してもらったりと学校の事情に応じた方法にて行った。配布に際しては

調査用紙と一緒に返信用切手を貼った封筒を添付し、回答を記入の上、後日郵送にて返信することを求めた。調査実施時期は、平成19年5月～7月であった。

Ⅲ. 結果と考察

1. 回収状況

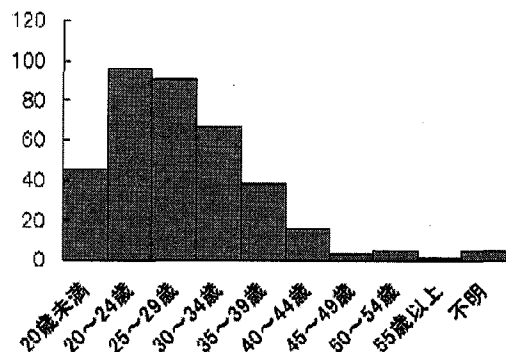


fig. 1 回答者の年齢分布

17歳から55歳までの総数367名、うち、男性236名、女性130名、性別無回答1名から回答を得た。回収率は31.2%であった。各学校ごとの回収数をTable 2に示す。また回答者の年齢分布を示したのがFig.1である。20歳までが回答者数45名（回答者全体の12.2%）、20歳から24歳までが96名（26.1%）、25歳から29歳までが91名（24.8%）、30歳から34歳までが67名（18.2%）、35歳から39歳までが38名（10.3%）であった。45歳以上の回答者はわずかであった。このように今回の調査では、20歳台の回答者の割合が高く、全体の約半数を占

めている。これは、高等部を卒業して間もない人の方が、同窓会での協力を呼びかけやすく、連絡が付きやすかったことが想定される。

2. 調査結果の概況

回答者の全体像を住居形態、就労形態（通所・居住施設への通所・入所を含む）、就労先変更の有無といった点からまとめる。

(1) 住居形態

回答者の住居形態をFig.2に示す。自宅で家族と生活をともにしていると回答した者が317名でこれは、全体の86.3%にも達している。職場の寮やアパート等で独立した生活をしている者は合わせても9名（2.3%）に過ぎない。これは前回調査でも同様に、家族と同居している割合は83.6%であった。しかし、前回調査では福祉ホームやグループホームでの生活はわずかに0.4%にすぎなかったのに、今回の調査では全体の3%となっており、少しずつではあるが増加傾向にある。これは障害のある人の自立生活のあり方が、単にノーマライズするということではなく、周りの人の助けを借りながら独立した生活を送るという環境作りや意識の高まりが感じられる結果であろう。なお、知的障害者のQOL（Quality of Life：生活の質）とは何かという課題はあるものの、河東田・中園（1999）の研究では、生活の場におけるQOLは、入所施設<親と同居<グループ

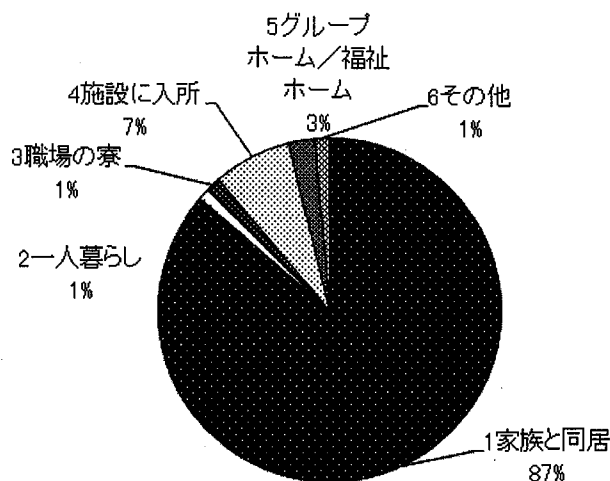


fig. 2 居住形態

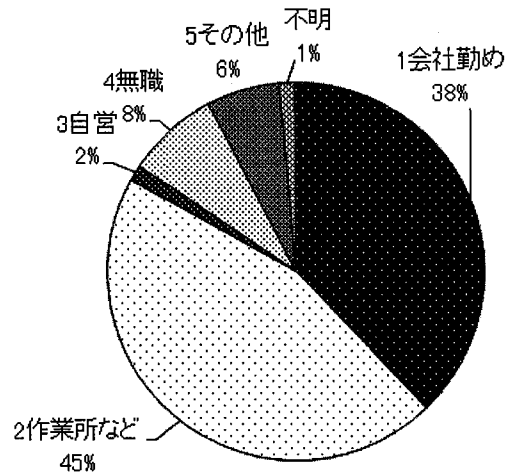


fig. 3 就労形態

ホーム＜独立生活の順に高いとしている。今回の調査の回答者は、高等部卒業生を対象としたことから施設入所者が少ない傾向になるが、障害者福祉施策によるグループホーム等の拡大はQOLの増進につながることが予想される。

(2) 就労形態

回答者の現在の就労先（通所施設・居住施設を含む）をFig.3に示す。会社勤めをしている者は139名、全体の37.8%であった。これには準社員、パート、アルバイトと回答した者64名が含まれており、その割合は会社勤めしている者の46.0%にあたる。作業所で働いている者は166名（45.2%）であった。自営は5名（1.3%）であり、無職は29名（7.9%）であった。

この結果から、就労形態では企業就労と作業所とでほとんど（約85%）を占めていることがわかる。逆に無職の割合が約8%と低く、何らかの仕事に就いていることがわかる。ただし内訳としては企業への就労よりも作業所への福祉就労が多かった。これは前回調査時においては企業就労が48.8%、通所施設は29.9%であったことから、通所施設の割合が今回調査において増してきており、今日、障害者が働くことができる場所というのは以前よりも限定的になってきていることが示唆される。

(3) 就労先変更の有無

回答者のうち80名、全体の21.8%が学校卒業後

に就労先を変更していた。就労先を変更した者の中で、現在の仕事が3年目以下の者は22名おり、知的障害者が一つの職場や施設作業所で定着して仕事をするの難しさがみられる結果となった。

なお、前回調査では31.3%が就労先を変更していたのに比べると、転職率は下がっている。これは以前に比べれば障害のある人の適性にあった就職や、ジョブコーチなどの就労支援、各種の職業訓練サービスの整備などが定着率の向上に寄与していることが予想される。

IV. 総合考察

本調査は、富山県という地域限定、しかも養護学校高等部の卒業生を対象としていることから、これが一般的な知的障害者の生活実態を反映しているものとは必ずしもいえないという前提はある。そのことをふまえて、今回は、居住形態、就労形態、就労先の変更について集計・分析を行った。

まず居住形態について今回の調査では、家族と同居している者が86.3%ととても多く、これは前回調査の83.6%という結果とさほど変わらず、今日においても家族の支援に依存した構造にあるといえる。なお、平成17年度版知的障害児（者）基礎調査では、知的障害者のうち在宅は419,000人（77%）、施設入所は128,000人（23%）と推定されている。しかし同基礎調査では障害の程度ごとに区分されておら

ず、その結果には重度や最重度の知的障害者も含まれていることから、本研究で行った調査結果とは開きがあるものと考えられる。

施設に入所している者も同様な理由から全国調査よりもきわめて少なく、全体の7.3%であった。それに加えて、今回の調査の回答者の年齢では40歳以下が91.6%であることから、両親が健在のためこのような数字になっていると推察される。

就労に関しては、厚生労働省の「平成13年度身体及び知的障害者就業実態調査」にみる何らかの形で就業している者に限った就労形態の実態では、常用雇用23.8%、パート・アルバイト9.2%、自営業3.8%、そして授産施設・作業所等53.8%となっている。今回の調査では、一般企業に就労する者は38%であり、全国調査の常用雇用とパート・アルバイトをあわせた33%とは大きく変わっていない。また半数近くが作業所などでの福祉就労であることも全国調査と同様である。依然として法定雇用率を満たしていない企業が多い現状をあらわしているといえよう。また一度就職できても、数年のうちに離職してしまうケースが2割程度あることは残念なことである。

この点については、特別支援学校においては教員や保護者による職場開拓も行っているが現状は厳しいという声を聞く。一方で企業からは基本的な生活習慣が一人のできる、報告ができる、よい人間関係を築くことができるなど、当たり前だが障害のある生徒達にとって厳しい要望が特別支援学校には寄せられている。したがって、今後の特別支援学校における就業支援においては、企業に対して障害のある生徒達を理解してもらうと共に、生徒の特性を生かし

た職場開拓やジョブコーチを含めた支援の方法などもより一層考えていく必要があるだろう。本人や保護者の就職に対する課題や要望なども今回調査でたずねているためより詳細な検討を行う必要がある。

それとともに今後は、今回報告できなかった身体・健康面の様子、普段での家での生活、休日の過ごし方、地域活動やスポーツ、情報機器活用の実態、生活に対する本人の考え・希望などについて順次報告していく。

引用文献

- 河東田博・中園康夫（1999）知的障害者の「生活の質」に関する日瑞比較研究. 海声社.
- 武藏博文・高畑庄蔵・平野道子・安達勇作（1996）知的障害者の地域生活援助に関する基礎研究. 富山大学教育学部紀要A, 48, 99-110.
- 武藏博文・高畑庄蔵・平野道子・安達勇作（1997）知的障害者の家庭生活に関する基礎研究. 富山大学教育学部紀要A, 49, 43-50.
- 武藏博文・高畑庄蔵・平野道子・安達勇作（1997）知的障害者の社会生活に関する基礎研究. 富山大学教育学部紀要A, 51, 15-25.
- 高畑庄蔵・武藏博文（1997）知的障害者の食生活、運動・スポーツ等の現状についての調査研究—本人・保護者のニーズ分析による地域生活支援のあり方—. 発達障害研究, 19 (3), 235-244.

附記

本報告は、財団法人科学技術融合振興財団平成20年度調査研究助成を受けて行われた研究成果の一部である。

生活実態アンケート調査

★アンケート用紙への記入について

- ・このアンケートは、みなさまの地域での生活が豊かになることを願って行うものです。
- ・本人自身の今の状況、本人あるいは保護者の方のお考えをお書きいただくと幸いです。
- ・アンケートの結果は統計的に処理しますので、みなさまにご迷惑をおかけすることは決してありません。
- ・アンケートの回答にかかる時間はおよそ20分程度です。
- ・選択肢(①…②…)のある設問は、あてはまる数字を○で囲んでください。
- ・記述式の設問は、括弧()内にお考えをお書きください。
- ・アンケートの結果がまとまりましたら、みなさまにご報告いたします。

I. 本人について

1 性別 ①男 ②女

2 年齢 () 歳) ←平成19年4月1日現在の本人の年齢でお答えください。

3 現在、本人はどこで生活していますか。

- ①家族と同居(誰と住んでいますか))
②一人暮らし ③職場の寮 ④施設に入所 ⑤グループホーム/福祉ホーム
⑥その他()

4 本人の仕事についてお聞きします。

(1)現在の勤務先・通所先を教えてください。

- ①会社勤め…(正社員 準社員 パート アルバイト) ←○をしてください
②作業所などへ通所 ③自営 ④仕事をしていない→5へ進んでください
⑤その他()

(2)毎日している仕事の内容を教えてください。

仕事の内容()

(3)現在の仕事は、卒業後どれくらい続けていますか。

- ①卒業以来ずっと ②転職した(現在の仕事は)年目)

(4)出勤・帰宅の時間は何時ごろですか。

出勤時間()時)分ごろ) 帰宅時間()時)分ごろ)

(5)休日はひと月に何日ぐらいですか。()日ぐらい)

(6)休日は何曜日ですか。

- ①日曜のみ ②土曜と日曜 ③平日 ④土日以外の決まった日 ⑤不定期

5 本人が自由に使えるお金(おこづかいなど)についてお聞きします。

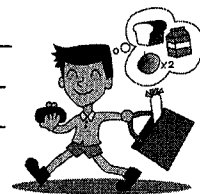
(1)本人がひと月に使うお金はいくらぐらいですか。()円程度)

(2)そのお金をふだん何に使っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①本・雑誌・新聞 ②CD・ビデオを買う ③CD・ビデオのレンタル
④ゲームソフト ⑤文具 ⑥おもちゃ(プラモデルや人形など)
⑦ジュースなどの飲物 ⑧お菓子 ⑨弁当・パン ⑩レストランなどで食事
⑪カラオケ ⑫美容院・床屋 ⑬服・靴 ⑭化粧品 ⑮ボウリング ⑯映画
⑰ゲームセンター・パチンコ ⑱電車に乗る ⑲習い事の月謝
⑳その他()

(3)お金の管理をどのようにしていますか。

- ①本人が自分で行う ②親が管理して本人の求めに応じて与えている
③親が管理して一定の額を月のおこづかいとして本人に渡している
④お金を使わない・関心がない ⑤ほとんどは貯金している
⑥その他()



II. 健康やからだの様子について

1 現在の身長と体重についてお聞きします。

(1) 現在のおおよその身長と体重を教えてください。身長(約 _____ cm) 体重(約 _____ kg)

(2) 体重は学校卒業時に比べて変わりましたか。

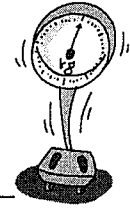
- ①変化なし ②明らかに増えた ③少し増えた ④少し減った ⑤明らかに減った

2 食事(朝、昼、夕)をきちんととっていますか。

①3食きちんととっている

②不規則になりがち(例)2食、外食が多い、コンビニ中心、お菓子のみなど

具体的にお書きください:



3 間食(おやつ)についてお聞きします。

(1) 間食(おやつ)を食べますか。

- ①ほぼ毎日食べる ②ときどき食べる ③食べない→4へ進んでください

(2) 間食(おやつ)の時間を決めていますか。

①決めている(いつごろ: _____) ②決めていない

(3) 間食(おやつ)の量や内容を決めていますか。

①決めている(具体的に: _____) ②決めていない

(4) よく食べているおやつはどのようなものですか。具体的にお書きください。

よく食べているものを具体的に _____ どのくらいの量

(例) ポテトチップス 毎日小袋1つ

.....
.....
.....



4 現在の体形についてお聞きします。

(1) 現在の体形をどのように思いますか。

- ①太っている ②やや太っている ③普通だと思う ④やややせている

⑤やせている ⑥特に気にしていない

(2) 「太っている」「やや太っている」と思う方は、その理由は何ですか。

あてはまるものすべてに○をしてください

①軽作業なため ②運動する機会が少ないため ③本人の体質のため

④食事をとりすぎるため ⑤間食(おやつ)をとりすぎるため

⑥病気などをしたため

⑦その他(_____)



(3) 「太っている」「やや太っている」と思う方は、改善しようとお考えですか。

①特に考えていない ②現状ではしかたがない ③運動する機会がほしい

④食事をひかえたい ⑤間食(おやつ)をひかえたい

⑥医療機関などに相談したい

⑦その他(_____)

5 寝起きをするのはだいたい何時ごろですか。

起きる時間(_____ 時 _____ 分ごろ) 寝る時間(_____ 時 _____ 分ごろ)

6 現在、健康やからだのことで気になっていることがあれば教えてください。

[_____]

Ⅲ. ふだんの家での生活について

(施設などに入所している方は、帰宅時の様子をお書きください)

1 家族と一緒に過ごす時間についてお聞きします。

(1) 家族と一緒に過ごす時間は、家庭の中でどれくらいありますか。

- ①ある(1日あたり 時間 分くらい) ②ほとんどない

(2) 家族と一緒に何をしていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①テレビ ②ビデオ・DVD ③テレビゲーム ④パソコン ⑤カードゲーム
⑥楽器演奏 ⑦CD・音楽鑑賞 ⑧カラオケ ⑨お手伝い ⑩食事 ⑪晩酌 ⑫おしゃべり
⑬運動() ⑭その他()

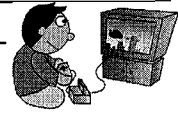
(3) 家族と一緒に過ごす時間が「ほとんどない」という方にお聞きします。

その理由を教えてください。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①共通の話題がないから ②親に時間がとれないから ③本人にその気がないから
④本人が好きなのをしているから ⑤独立した生活をしてほしいから
⑥その他()

2 一人で過ごす時間についてお聞きします。

(1) 一人で過ごすときに、ほぼ毎日していることは何ですか。



あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①テレビ ②ビデオ・DVD ③テレビゲーム ④パソコン ⑤カードゲーム
⑥携帯電話・メール ⑦楽器演奏 ⑧CD・音楽鑑賞 ⑨カラオケ・ダンス
⑩雑誌を読む ⑪マンガを読む ⑫小説・文庫本を読む ⑬新聞を読む
⑭お手伝い ⑮運動() ⑯料理 ⑰手芸・工作
⑱ペットの世話 ⑲ごろ寝 ⑳晩酌 ㉑タバコ ㉒習い事 ㉓おしゃべり
㉔好きな物で遊ぶ() ㉕その他()

(2) 一人で過ごすときに、たまにすることは何ですか。

あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①テレビ ②ビデオ・DVD ③テレビゲーム ④パソコン ⑤カードゲーム
⑥携帯電話・メール ⑦楽器演奏 ⑧CD・音楽鑑賞 ⑨カラオケ・ダンス
⑩雑誌を読む ⑪マンガを読む ⑫小説・文庫本を読む ⑬新聞を読む
⑭お手伝い ⑮運動() ⑯料理 ⑰手芸・工作
⑱ペットの世話 ⑲ごろ寝 ⑳晩酌 ㉑タバコ ㉒習い事 ㉓おしゃべり
㉔好きな物で遊ぶ() ㉕その他()

3 家庭での決まった役割(お手伝い)についてお聞きします。

(1) お手伝いをしている方は、どのようなお手伝いをしていますか。

お手伝いの内容を具体的に 週あたりの回数

.....
.....
.....

(2) お手伝いをしていない方は、その理由を教えてください。

あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①特に決めていないから ②逆に手がかかるから ③本人が疲れているだろうから
④何が本人にできるかわからないから ⑤本人がやりたがらないから
⑥その他()

4 学校で学んだことで、家庭での生活で役立っていることがあれば教えてください。

[]

IV. 休日等の屋外での過ごし方について

(施設などに入所している方は、帰宅時の様子をお書きください)

1 休日に家の外で過ごす時間についてお聞きます。

(1) 休日に家の外で、月に数回程度、何をして過ごしますか。

あてはまるものすべてに○をしてください。

- ① ボウリング ② 映画 ③ 旅行 ④ パチンコ・スロット ⑤ ゲームセンター
 ⑥ 買い物 ⑦ ドライブ ⑧ 外食 ⑨ バッティングセンター ⑩ 公園・遊園地 ⑪ 魚つり
 ⑫ 散歩 ⑬ 自転車のり ⑭ カラオケ ⑮ お店めぐり ⑯ マンガ喫茶 ⑰ コンサート・観劇
 ⑱ スポーツ観戦 ⑲ 地域の行事 () ⑳ 屋外での手伝い ()
 21 運動・スポーツ () 22 ボランティア ()
 23 その他 ()



(2) 休日に家の外で、年に数回程度、何をして過ごしますか。

あてはまるものすべてに○をしてください。

- ① ボウリング ② 映画 ③ 旅行 ④ パチンコ・スロット ⑤ ゲームセンター
 ⑥ 買い物 ⑦ ドライブ ⑧ 外食 ⑨ バッティングセンター ⑩ 公園・遊園地 ⑪ 魚つり
 ⑫ 散歩 ⑬ 自転車のり ⑭ カラオケ ⑮ お店めぐり ⑯ マンガ喫茶 ⑰ コンサート・観劇
 ⑱ スポーツ観戦 ⑲ 地域の行事 () ⑳ 屋外での手伝い ()
 21 運動・スポーツ () 22 ボランティア ()
 23 その他 ()

2 保護者以外に休日等で一緒に過ごす人についてお聞きます。

(1) 保護者以外に休日等で一緒に出かける人はいますか。

- ① いる ② いない

(2) 保護者以外に出かける人が「いる」と答えた方にお聞きます。

一緒に出かける人はどのような人ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ① 学校時代からの友人 ② 職場の仲間 ③ 近所の友人 ④ 兄弟姉妹 ⑤ 親類／縁者
 ⑥ 交際相手 ⑦ ボランティア ⑧ その他 ()

(3) 保護者以外に出かける人が「いる」と答えた方にお聞きます。

保護者以外の人とどのようなところで出かけますか。

でかけるところを具体的に 年あたりの回数

.....



3 親の会の行う活動や障害者の集うサークル活動についてお聞きます。

(1) 現在、親の会の行う活動や障害者の集うサークル活動に参加していますか。

- ① 参加している ② 参加していない

(2) どのような活動に参加していますか。

参加している活動を具体的に 年あたりの回数

.....

4 友人のことで悩んでいることがあれば、教えてください。

[]

V. 地域活動・スポーツについて

1 習い事についてお聞きします。

(1) 現在、習い事をしてますか。 ①している ②していない

(2) 習い事を「している」と答えた方、どんなことをしていますか。

習い事の内容を具体的に

月あたりの回数

.....

2 地域の行事についてお聞きします。

(1) 現在、地域の行事に参加していますか。 ①参加している ②参加していない

(2) 地域の行事に「参加している」と答えた方、どんな行事に参加していますか。

あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①お祭り ②住民運動会 ③地域の廃品回収や清掃活動 ④ラジオ体操
 ⑤地域のレクリエーション（具体的に： _____）
 ⑥その他（ _____）

3 運動・スポーツについてお聞きします。

(1) 現在、運動・スポーツをしていますか。 ①している ②していない

(2) 運動・スポーツを「している」と答えた方、どのような運動やスポーツをしていますか。

運動・スポーツの内容と場所を具体的に

月あたりの回数

.....



(3) 今後どんな運動・スポーツをしてみたいですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①散歩 ②ジョギング ③なわとび ④水泳 ⑤サイクリング ⑥卓球
 ⑦ボウリング ⑧バドミントン ⑨フライングディスク ⑩フロアホッケー
 ⑪スキー・スノーボード ⑫バレーボール ⑬ゴルフ ⑭ソフトボール・野球
 ⑮サッカー ⑯ストレッチ・エアロビクス ⑰テニス ⑱バスケットボール
 ⑲その他（ _____）

(4) 運動・スポーツをすることは必要だと思いますか。

- ①必要だと思っている ②必要とは思っているがしていない
 ③特に必要と思っていない

(5) 運動を「必要とは思っているがしていない」という方にお聞きします。

その理由を教えてください。あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①何をどのようにすればよいのかわからないから ②適当な場所・施設がないから
 ③適当な活動プログラムがないから ④親が付き合えないから ⑤本人が疲れているから
 ⑥本人に時間がないから ⑦本人がやりたがらない・続けられないから ⑧指導を頼める人がいないから
 ⑨その他（ _____）

(6) 家庭で一人で手軽にできる運動プログラムがあればしてみたいですか。

- ①ぜひしてみたい ②できそうならしてみたい ③特にしたいとは思わない
 ④してみたいが無理だと思う（理由： _____）
 ⑤その他（ _____）

(7) 運動・スポーツに関して、行政や社会等への要望があれば教えてください。

[_____]

4 現在の地域活動やスポーツへの参加のために、学校在学時にしてほしかったことがあれば教えてください。

[_____]

VI. パソコンや携帯電話の利用について

1 パソコンの利用についてお聞きします。

(1) 自分の家に、使用できるパソコンがありますか？

- ① 自分だけが使えるパソコンがある
- ② 家族といっしょに使えるパソコンがある
- ③ ない

(2) パソコンでどのようなことをしていますか？あてはまるものすべてに○をしてください。

- ① インターネット ② メール ③ ゲーム ④ 音楽をきく ⑤ DVD をみる
- ⑥ チャット ⑦ ブログ ⑧ 仕事のため（具体的内容： _____)
- ⑨ その他（ _____)

(3) 1週間にどれぐらいパソコンを使いますか？

- ① 毎日 ② 週に5・6日 ③ 週に3・4日 ④ 週に1・2日
- ⑤ ほとんど使わない ⑥ その他（ _____)

(4) 1日に何時間ぐらいパソコンを使いますか？

(_____) 時間ぐらい

(5) 文字を入力するとき、「かな入力」と「ローマ字入力」のどちらを使いますか？

- ① かな入力 ② ローマ字入力
- その理由（例）学校でローマ字をならったから、家のパソコンはかな入力だから など
(_____)

2 携帯電話の利用についてお聞きします。

(1) あなたは携帯電話をもっていますか？

- ① 自分の携帯電話をもっている
- ② 家族といっしょに使う携帯電話がある
- ③ ない

(2) あなたは携帯電話でどのようなことをしていますか？あてはまるものすべてに○をしてください。

- ① 電話 ② インターネット ③ メール ④ ゲーム ⑤ 写真をとる
- ⑥ テレビをみる ⑦ ラジオをきく ⑧ 音楽をきく ⑨ メモをとる
- ⑩ スケジュール管理 ⑪ 時計 ⑫ おさいふケータイ ⑬ 計算機
- ⑭ 仕事のため（具体的に： _____)
- ⑮ その他（ _____)

(3) あなたは1週間にどれぐらい携帯電話を使いますか？

- ① 毎日 ② 週に5・6日 ③ 週に3・4日 ④ 週に1・2日 ⑤ ほとんど使わない
- ⑥ その他（ _____)

(4) あなたは携帯電話をいつごろから使っていますか？またその理由を教えてください。

使いはじめた時期（ _____ ）歳ごろ
使いはじめた理由（ _____)

(5) 1ヶ月にかかるおおよその通話料金を教えてください。

毎月（ _____ ）円ぐらい

(6) 携帯電話の通話料金は、誰が支払っていますか？

- ① 自分の給料から ② 自分のこづかいから ③ 家族
- ④ その他（ _____)

(7) 電話やメールをする相手は誰ですか？あてはまるものすべてに○をしてください。

- ① 学校時代からの友人 ② 職場の仲間 ③ 近所の友人 ④ 兄弟姉妹 ⑤ 親類／縁者
- ⑥ 交際相手 ⑦ ボランティア ⑧ 学校の先生 ⑨ その他（ _____)

3 パソコンや携帯電話の利用についてお聞きします。

(1) 使い方について家族の人と約束している決まりがありますか？

① 約束が決まっている

(どのような約束ですか？)

② 特に約束は無い

(2) これまでに、パソコンや携帯電話を利用して、何か犯罪に巻き込まれそうになったり被害にあったことがあれば教えてください。

[]

(3) パソコンや携帯電話を使って、できるようになりたいことや、知りたいことがあれば教えてください。

[]

(4) パソコンや携帯電話を使うとき、むずかしいことやこまっていることを教えてください。

[]

VII. 本人の考えについて

1 将来について、本人の希望をお聞かせください。

[]

2 職場・作業所で困っていること、悩んでいることがあれば、お書きください。

[]

3 男女の交際についてお聞きします。

(1) 現在、つきあっている人(彼氏・彼女)がいますか。 ① いる ② いない

(2) つきあっている人が「いない」という方にお聞きします。 彼氏または彼女がほしいですか。

① とてもほしい ② できればほしい ③ ほしくない ④ わからない

(3) 結婚について、どのようにお考えですか。

① 結婚したい ② 結婚したいとは思わない ③ わからない

4 本人が悩みを相談する人についてお聞きします。

(1) 本人が悩んだ時、相談できる人はいますか。 ① いる ② いない

(2) 相談できる人が「いる」という方にお聞きします。 相談する相手はどのような人ですか。

あてはまるものすべてに○をしてください。

① 職場の上司・同僚 ② 学校の先生 ③ 作業所の先生 ④ 友達 ⑤ 親

⑥ 兄弟姉妹 ⑦ 親類・縁者 ⑧ インターネットの掲示板やチャット

⑨ その他 ()

VIII. 今後の生活について

1 今後の生活を考えて、たとえば10～15年ぐらい先はどのように暮らしたいと考えていますか。

- ①親や家族と一緒に暮らす ②家族のそばで独立した生活をする
③支援を受けながらアパートや寮で独立した生活をする ④施設で暮らす
⑤グループホーム/福祉ホームで暮らす ⑥今はなんともいえない
⑦その他 ()

2 今後の生活を考えて、行政や社会等に対する要望がありましたらお書きください。

3 保護者の方が相談する人についてお聞きます。

(1) 保護者の方がお子さんのことで悩んだ時、相談する人はいますか。 ①いる ②いない

(2) 相談できる人が「いる」という方にお聞きます。相談する相手はどのような人ですか。

あてはまるものすべてに○をしてください。

- ①学校の先生 ②親の会の会員（手をつなぐ育成会や自閉症協会など）
③サークルの仲間 ④同窓生の保護者 ⑤職場・施設・作業所の先生
⑥行政機関・相談員（発達障害者支援センターも含む） ⑦親類・縁者
⑧自分の友達 ⑨インターネットの掲示板やチャット
⑩その他 ()



☆お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

本調査の結果は、皆さまの生活を豊かにするための基礎資料として活用させていただきます。

☆このアンケートについてのご意見がありましたら、下記にご自由にお書きください。

